

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
家庭	生活と福祉	3	医療看護	選択	4
使用教科書 ・副教材等	生活と福祉（実教出版）				
学習目標	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識や技術を習得し、高齢者の生活の質を高めるとともに自立生活支援と福祉の充実に寄与しようとする態度と能力を身に付ける。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考查まで	<p>オリエンテーション</p> <p>1 人の一生と生活・健康</p> <p>介護の実習</p> <ul style="list-style-type: none"> * 歩行介助 * 車いすの移乗・移動の介護 * ベッドメイキング * 体位変換 * レクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的意識を持って学習できるようにする。 ・ 健康の概念について学ぶ。 ・ ライフステージごとの健康問題の特徴を知り、高齢期に自立した生活が送れるよう、介護予防の重要性を理解する。 ・ 歩行介助、車いす体験により、適切な介助の方法を学ぶ。 ・ 衛生的で素早いベッドメイキングの方法を理解し、その技術を身に付ける。 ・ 体位変換の重要性を理解し、ボディメカニクスの原則を利用し、その技術を身に付ける。 ・ レクリエーションの意義と目的を理解し、福祉施設訪問に向けて準備をする。
一学期期末 考查まで	<ul style="list-style-type: none"> * 衣服の着脱の介護 <p>2 高齢化の現状と高齢者の特徴</p> <p>介護・看護の実習</p> <ul style="list-style-type: none"> * 福祉施設への訪問 * バイタルサインの見方 * 脱水、熱中症 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服を着替えることの意義と目的を理解し、着脱の介護の方法を学ぶ。 ・ 高齢化の現状と課題、心身の特徴と病気について理解し、社会福祉の在り方や事故の防止や対応について考える。 ・ コミュニケーションの取り方について考え、実践する。 ・ 家庭看護の基礎的な技術について学び、生活に生かせるようにする。
二学期中間 考查まで	<p>3 高齢者の自立生活支援</p> <p>介護の実習</p> <ul style="list-style-type: none"> * 食事の介助 * 身体の清潔の介護 * 排泄の介護 * 福祉施設への訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生活の質を重視し、その人らしい自立した生活を支援することの重要性について理解する。 ・ ノーマライゼーションやユニバーサルデザインなど、社会福祉の基本的な考え方について学ぶ。 ・ 実習を通して、介助の方法や心遣いについて学ぶ。 ・ 介護の基礎的な知識を学ぶとともに、プライバシーについて考える。 ・ コミュニケーションやレクリエーションを通して、高齢者の心身の特徴を知るとともに、介護や福祉の在り方について考える。
二学期期末 考查まで	<p>看護の実習</p> <ul style="list-style-type: none"> * 口腔の清潔 * 誤嚥と窒息 * 転倒と骨折 * 低温やけど * 高血圧と低血圧 * 糖尿病 <p>生活支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭看護の基礎的な技術について学び、自分や家族の健康管理を考える。 ・ 日常生活の中での事故の防止や健康管理に生かすとともに、応急処置ができる知識と技術を身に付ける。 ・ 利用者の生きづらさの一部を補う生活支援は、生活の豊かさに関わることを学ぶ。
学年末 考查まで	<p>4 高齢者支援の法律と制度</p> <ul style="list-style-type: none"> * 福祉施設への訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉の現状と課題を考える。 ・ コミュニケーションやレクリエーションを通して、高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者の自立生活支援の在り方考える。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業中の発表、ワークシートの整理状況で評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 実習記録の記述、実技テスト、レポート・発表、定期考査等で評価する。</p> <p>【技能】 実習の態度、実技テスト、定期考査等で評価する。</p> <p>【知識・理解】 定期考査等で評価する。</p>	